

網張ビジターセンター ニューズレター



Vol.52
2014.1



冬芽コレクション

iwatesanrokunoikimonotachi iwatesanroku

* 岩手山麓の生き物たち *

iwatesanrokunomorinoikimonotachi iwatesanroku

冬越しするための工夫がいっぱい！

厳冬期に入ったばかりの岩手山麓は、あたり一面銀世界が広がっています。「この季節は何も見られないなあ…」と書いてしまいがちですが、この時期ならではの見どころが実はたくさんあります。花も葉っぱも見られなくなった樹木の枝には春に芽吹くため準備されている“冬芽”（「ふゆめ」、「とうが」）を見ることができます。冬芽の中には葉や花のつぼみが入っているため、厳しい寒さや乾燥を乗り切るための様々な工夫がいっぱい！

写真のオニグルミは冬芽を守るウロコ状のコートのようなもの（芽鱗「がりん」）は持っていませんが、短い毛でびっしりと覆われ身を守っています。他にもフワフワした毛で覆われたものや芽鱗を幾重にも重ねるなど樹木の種類によって異なり、花や葉っぱ以外にも樹木を知る手がかりとなっています。静かな森の中でお気に入りの冬芽を探してみませんか？

What is “onigurumi” ?

「ヒツジの顔に似た冬芽」

クルミ科

高さ：7～10m 前後

分布：本州～九州

果実の表面が凸凹していて鬼の面（つら）に似ているところから“鬼グルミ”と呼ばれるようになったとされる。果実はリスやネズミなどの食料となり広範囲に運ばれる。殻はスタッドレスタイヤの素材として使われるほど非常に堅い。

iwatesanrokunoikimonotachi iwatesanroku iwatesanrokunoikimonotachi iwatesanroku iwatesanrokunoikimonotachi iwatesanroku iwatesanrokunoikimonotachi

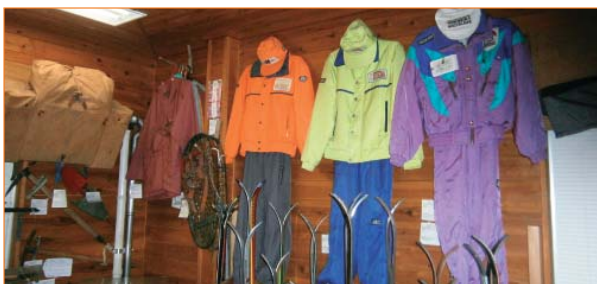
懐かしの登山用具

やまや 山屋愛用の品々を展示

展示コーナー紹介 その⑤

網張ビジターセンターには、大勢の山岳愛好家から頂いた、一昔前の懐かしい登山用具が収納されています。それらをまとめて展示しているコーナーが、温泉館の休憩所隣にある小さな板張りの部屋。山の本を集めた「モモンガ文庫」と同じ部屋です。

まず目を引く物は、ズラリと並べられたスキー



壁には1993年に栗石で開催された世界アルペンの制服や、木製シャフトのピッケルも展示されています。

の列。スキー登山初期の頃は登山靴をワイヤーで固定し、竹のストックを使っていました。そして大きなキスリング。よくぞこんな物を背負って歩けたものだと感心するばかり。黒い皮の登山靴には太くて重い鉄のアイゼンが装着。灯油やガソリンを使ったコンロや、鍋やヤカンがセットになった調理器具、綿やビニロンのヤッケ・オーバーズボン、純毛のセーターやニッカズボン等が並びます。山好きにはたまらない、かつての山小屋の雰囲気です。

おしえて

網張の森に、冬の散策コースはありますか？

コースに**赤リボン**を付けました

本格的な雪のシーズンを迎え、網張の森は静かな眠りに着いているように見え



テンの足跡を見つけた親子のスノーシュー散策

ますが、最近ではスノーシューなどを使った冬の散策がブームになっています。

今シーズンもコースについての問い合わせが増えており、ビジターセンターでは昨年からは初心者を対象にしたスノーシュー用のコースに「赤いリボン」を付け、個人的に散策される方の目印にしています。

コースは網張の森の夏の散策コースを基本に、急な坂道は巻いて歩くようにしてあります（つり橋や山女の湯への道は、通行止めになっています）。

散策路とはいえ冬山です。天候の良い日を選び、無理をせずに楽しみましょう。



岩手山は見る場所によって、形が違うことは前回に書きましたが、さらに見る場所を一般の人があまり行かない所で見た場合、どんな形に見えるか、お知らせしたいと思います。左側に岩手山、右側に姫神山を目にするのを普通に思っている方が多いと思いますが、岩手山より北に行くと、それが当然逆になるのです。またそして、ずっと遠くから岩手山を見ると裾野まで見え、さらに遠くの山まで見えて、得した気分になるものです。

早坂高原の駐車場からさらに奥の細い道を車で5分ほど森の中を行くと視界が開けて巨大な発電用の風車が数機、周りの風景と違和感を覚える風景に出合います。

そして眺望が開けたそこから山並みを望むと、向こうに岩手山が見えて正にその左側に姫神山が見えるのです。いつも見慣れている風景と違うと、不思議な感じになるものです。



早池峰山の頂上から小田越え登山口に向かって降りて直ぐ振り返ると、絵のような風景が望めました。はるか向こうに雪を頂上に被った岩手山が見えるのです。秋の空気が澄んだ時でなければ見られない景色です。早池峰山の標高は 1917mで岩手山より低いのですがこちらのほうが高く、見下ろしているような感じで見えました。そしてこの時さらに鳥海山までも見えました。



ようこそ 網張へ ビジターさんにインタビュー

一月の巻

••本日の来館者は網張の森スノーシュー体験行事のサポートスタッフとして来館された太田泰博さん。青森県の十和田市在住で奥入瀬溪流や八甲田山域のネイチャーガイドをしているそうです。「網張は初めて来ました」「網張薬師とそれを囲む杉の木が印象的、網張の森は人と深く関わってきたところがおもしろい」「広葉樹の樹齢が比較的若いので、これからどう変わっていくのか興味深い」••
さすがに鋭い観察••「網張ビジターセンターで感動したのはファールミコと実体顕微鏡が置いてあったこと、来館者が気軽に観察できるような気配りがうれしい」「それと自然関係の本が充実していますね」「館内全体で森の構造が学べる仕組みになっているのがすごく魅力的で1日いたい施設ですね」••ありがとうございます。網張 VC としては国立公園を身近に感じてもらうよう努力しているのですが、
「十和田湖畔で生まれ育ったので国立公園を特別に意識するということはありませんでした。国立公園を決めるのも、変えるのも人間、人間と一緒に成長していくものではないでしょうか」「森の中を歩くと、既知のもの、未知のものとの出会いを参加者と一緒に楽しむことを大切にしています」「木々たちは遙かに長い時間を生きている、私たち人間はその自然の中で生かしてもらっている、ありがとうと言いたいですね」••自然関係の仕事をする前はミュージシャンだったという太田さん。今度は森が奏でる音の解説を聞かせて下さいね•••



11月17日(日) 「晩秋の網張の森を歩く」

伊藤 信一さんの作品



アオダモって本当に青く光ったね!

◆参加者3名 パークボランティア5名
森林インストラクターの菊地智久さんが、網張の森の樹木にまつわる興味深い話をたくさん教えてくださいました。最後は参加者全員で森の自然をスケッチしてみて、改めて秋の自然の美しさを再認識

12月15日(日) 「冬の網張の森を歩く」

初めてのスノーシュー楽しかった?

◆参加者19名 パークボランティア6名
アニマルトラッキングの予定でしたが新雪が深すぎて動物たちもお休み。氷点下の静かな雪の森で参加者思い思いのルートラッセルして体はポカポカ。冬の森はすごく見通し良かったね。



***インフォメーションコーナー** 詳しいお問い合わせは網張ビジターセンターまで

「巖鷲/滝スノーハイク」

滝沢市(滝沢市山岳協会)と共催

2月22日(土)

くらかけ沢の源流部ってどんなところ?
相の沢登山口集合 9:30~14:30
定員30名
参加費大人500円 小学生300円

「鎌倉森雪上トレッキング」

3月9日(日)



雪のこの季節にしか登れない山
途中の7十の原生林が見事!
網張ビジターセンター集合 9:00~14:30
定員20名
参加費大人800円 小学生600円(温泉入浴料込)

「残雪の奥産道を歩く」

3月23日(日)

平坦な雪上をどこまでも歩いてみよう。
国立公園の良さがじんわり伝わってくるよ。
網張温泉スキーセンター集合 9:30~14:00
定員20名
参加費大人800円 小学生600円(温泉入浴料込)

● 現在開催中の網張ビジターセンター企画展 ● 1月5日から2月28日までビジターセンター展示コーナーにて
「岩手虫の会」所属の三井 秀男さんが網張の風景の魅力を見つけた写真展 **「網張に遊ぶ 網張の“えくぼ”」**

カメラを持つての網張散策、昆虫を撮りながらゆっくり歩いていると景色が急に素晴らしく綺麗に見えてくることあります
まるで催促されているかのように 皆さんがよく歩いている道端からの写真です



「飛行機雲」

最高の天気に出た彩雲を背にジェット機が横切った。



「フィールド」

3月の鎌倉森から犬倉山へこの時期だけのコース。

十和田八幡平国立公園 網張ビジターセンター

来館者数 ◆11月 1,161人 ◆12月 544人
朝9時のビジターセンター平均気温 ◆11月1.0℃ ◆12月-4.2℃

発行 網張ビジターセンター運営協議会

〒020-0585 岩手県岩手郡雫石町長山小松倉1-2(網張温泉)

TEL 019-693-3777 FAX 019-693-3778

URL <http://www17.ocn.ne.jp/~amihari/>

E-mail: amihari@vanilla.ocn.ne.jp

開館 冬期(11月~3月) 毎週火曜日休館 9時~17時

モモンガのつぶやき

ビジターセンターの窓の外を強い雪混じりの西風が吹き抜けていくこの時期、大人気なのがスノーシューハイキング。予定行事はすぐに定員に達し、あわてて追加日程を準備したりと、参加者確保に四苦八苦した数年前がウソのよう。何がそんなに魅力なのか?自分なりに出した結論、「大自然の中で決められた道以外の雪上ルートを自由に歩ける快感をみんな知ってしまった!」のでは。こんな楽しい雪も毎日やらねばならぬ除雪作業の雪とまったく同じなのですが・・・(たくちゃん)

